

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

磐田市教育委員会

1 はじめに

令和3年5月に実施した「令和3年度全国学力・学習状況調査」の概要をお知らせします。本市の調査結果を公表することにより、児童生徒に関わる様々な立場の方々に関心をもっていただき、学校・家庭・地域が一体となって磐田市の子どもたちを育てていきたいと考えております。

なお、本調査は、児童生徒が身に付けるべき学力の一部分を測定したものであり、子どもたちの学力や学習状況を把握する資料の一つとして、一人一人に応じた指導や学習状況の改善のために役立てていきたいと考えております。

※結果分析と今後の対策については、11月上旬にお知らせする予定です。

2 結果

〈小学校〉全国学力・学習状況調査平均正答数と平均正答率

	国語		算数	
	平均正答数 (14問)	平均正答率 (%)	平均正答数 (16問)	平均正答率 (%)
磐田市	9.3	67	11.5	72
県(公立)	9.0	65	11.1	70
全国(公立)	9.1	64.7	11.2	70.2

〈中学校〉全国学力・学習状況調査平均正答数と平均正答率

	国語		数学	
	平均正答数 (14問)	平均正答率 (%)	平均正答数 (16問)	平均正答率 (%)
磐田市	9.3	66	9.6	60
県(公立)	9.2	66	9.5	59
全国(公立)	9.0	64.6	9.1	57.2

3 結果概要 ○成果等 ●課題等

	小学校	中学校
国語	○語句の使い方を理解し、話や文章で使うことができるかどうかをみる問題の正答率が高かった。 ※問題文の「より」という語句が、比較を意味していることが分かる。 ●目的を意識し、中心となる語や文を見付けて要約する問題に課題があった。 ※面ファスナーの良さにふれ、宇宙ステーションでの用途について述べる。	○質問の意図を捉えることができるかをみる問題の正答率が高かった。 ※問題文にある、対話中の発言内容を正しく説明したものを選択する。 ●文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ問題に課題があった。 ※文章を理解し、自分の考えを書く。
算数・数学	○棒グラフから、数量を読みとることができるかどうかをみる問題の正答率が高かった。 ●複数の図形を組み合わせた図形の面積を求める問題に課題があった。 ※4つの二等辺三角形を組み合わせた図形の面積を求める。	○与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかをみる問題の正答率が高かった。 ●データ傾向を捉え、判断の理由を説明する問題に課題があった。 ※2つの度数分布多角形の特徴を比較して説明する。